

単元名 曲想を味わいながら合わせて歌おう1

配当時間 4時間

- 単元の目標 (1) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けることができる。
- (2) 曲想と全体の構成との関わりについて理解し、全体の響きを聴きながら他の声部と合わせて歌う技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫することができる。
- (3) 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組もうとする。

標準的な展開例

12260203_001

【教材名】大地讃頌 合唱コンクール曲 (下 P.78～P.79)

【準備等】範唱音源、パート練習用音源、録音録画機器(タブレット)

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 楽曲の全体の構成を理解する。</p> <p>★楽曲の全体の構成を理解しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○範唱を聴取し、フレーズのまとまりを基本にして、全体の構成をとらえる。 ○パートを決め、主旋律の担当、強弱の設定、曲の山場（クライマックス）などを考えながらパートごとに歌う。 <p>2 パート練習で表現を工夫する。</p> <p>★パートで表現を工夫しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○パートに分かれて歌い、主旋律の担当、速度や強弱の設定などを確認しながら、2番以降の表現を工夫する。 ○パートごとに工夫した内容を発表し、表現しながら交流する。 <p>3 曲の構成と曲想の変化との関係や、パートの役割を生かして表現を工夫する。</p> <p>★少人数のグループで表現を工夫しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各パート数名ずつのグループで表現し、曲想の変化について交流する。 ○最後の部分の速度や強弱等の設定を生かして表現を工夫する。 ○グループで検討した内容を楽譜やワークシートにまとめその内容を発表したり歌唱表現したりして交流する。 <p>4 学級としての表現を工夫する。</p> <p>★まとめの表現をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○これまでに学習した内容を生かして、全体の合唱を表現する。 ○学級として表現を工夫する内容を楽譜に記入し、確認しながらまとめの表現をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容をしっかりと理解させ、心に訴える合唱を目指させる。 ・パート決めは個人の希望を優先させるものの全体のバランスや適正を考慮して教師が助言する。 <p>【評】曲想と全体の構成との関わりについて理解しているか、歌唱表現の活動を通して、「技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれのパートの役割をしっかりと果たして歌唱できるまで練習させる。 <p>【評】楽曲の表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、ふさわしい発音や発声についてアドバイスする。 ・タブレットの録画機能を活用させる。 <p>【評】楽曲の表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>【評】曲想と全体の構成との関わりについて理解したり、全体の響きを聴きながら他の声部と合わせて歌う技能を身に付けたりする活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>【評】楽曲の表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】

「大地讃頌」や合唱コンクール曲を教材にして速度や強弱の設定を生かし、曲の山場（クライマックス）や担当するパートの役割を考えながら合唱で表現する技能を身に付けさせる。そして、曲想と曲全体の構成との関わりを理解し、全体の響きや他のパートを聴取して指揮やピアノ伴奏も含めて混声三部合唱や混声四部合唱の表現を工夫させる。

【共通事項】音色・速度・旋律・テクスチャ・強弱・構成